

---

---

## 令和6年度 学術・保険研修会（三重県柔道整復師会）について

---

---

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）では、学校等の管理下における児童生徒等の災害（負傷、疾病、障害、又は死亡）に対して、災害共済給付（医療費、障害見舞金、死亡見舞金の支給）を行っています。

また、給付実績から得られた事故情報を整理・分析の上、外部有識者の知見をもとに事故防止のための様々な資料を作成しております。

今回は、三重県柔道整復師会から講師派遣依頼をいただき、令和6年9月29日（日）に三重県津市で開催された学術・保険研修会において、三重県柔道整復師会会員に対し災害共済給付制度とはどのような制度なのか、また、災害共済給付Webに掲載している「学校等事故事例検索データベース」の説明や紹介を行いました。

### 【研修会の概要】

研修会名：令和6年度 学術・保険研修会

研修会テーマ：保険集団指導

日程：令和6年9月29日（日）

会場：アスト津 4F アストホール

参加者：三重県柔道整復師会会員 130名

### 【研修会の様子】



### 【説明の内容】

災害共済給付制度については、以下の点を説明させていただきました。

- ①災害共済給付制度は、学校等の設置者が児童生徒等の保護者の同意を得てJSCとの契約により災害共済給付を行うもので、運営に関する経費を国、学校等の設置者、保護者の三者で負担する互助共済

制度であること

- ②学校の管理下において発生した児童生徒等のけがに対し、災害共済給付を行うことによって学校等が安心して教育活動を行ってもらい、つまり、「学校教育の円滑な実施に資する」という基本的な考え方のもとで運用されていること
- ③制度の特色である低額な掛金で手厚い給付が行えていることの理由として、国の補助・学校の設置者の制度に係る事務へのご協力が挙げられること
- ④医師等、特に柔道整復師会とは協定書を取り交して給付金請求用紙の証明にご協力いただいていること

事故防止の取り組みについては、災害共済給付Webに掲載している以下の点を説明させていただきました。

- ①災害共済給付がなされた9,000件以上の死亡・障害事例が検索できる「学校等事故事例検索データベース」の紹介と使い方
- ②外部有識者との協力により作成した、事故防止に役立てていただくための「教材カード」等の紹介

なお、講演時間の前に柔道整復師会の方と話をする時間があり、その際、「自治体の医療費助成を受けた場合、JSCの災害共済給付の取り扱いはどうなるのか。」「保護者は医療費助成を使用しても、災害共済給付から1割は必ずもらえるということを知らないのではないか。」等のご意見をいただきました。本件については、学校や設置者に対して、「災害共済給付請求ガイドブック」「機関紙」「災害共済給付Web」のよくあるご質問等において、「子ども医療費助成制度などの制度を利用した結果、窓口負担が無い場合でも、医療費総額の1/10の支給がありますので、請求いただけます。」と案内していることと、引き続き学校等の設置者等に対し制度の周知をしていくことを回答させていただきました。

いただいたご意見等を受け、災害共済給付制度の周知を、これまで以上に積極的に行っていく必要があると感じました。

【配布資料】

①令和6年度 災害共済給付ガイド

災害共済給付事業部の業務全般を紹介しています。



②教材カード（「柔道での重大事故を減らそう!」「減らしたい!柔道での重大事故!!」）

平成31年2月号 中学校・高等学校向け

## 柔道での重大事故を減らそう!

柔道では死亡や重い障害が残る重大な事故が発生しています!!

**重大事故の発生傾向**  
学校の管理下で20年間(H10~H29)に発生した体育活動中における事故で死亡・障害見舞金(第1級~第3級)を給付した事例824例のうち柔道の事故は86件発生しています。

**Check!**  
「頭部外傷」(42件、48.8%)「背骨損傷」(24件、27.9%)「突然死等」(10件、11.6%)  
「熱中症」(7件、8.1%)「その他」(3件、3.5%)となっています。

**重症外傷の特徴**

頭部外傷	頸部外傷
発生数が多い	発生数が多い
投げられた時	投げた時

**自分でできる重症外傷予防のポイント**

頭部外傷予防	頸部外傷予防
受身の徹底練習、頸部伸展の抑制	前方転倒受身、軸をすらすら引き手をしっかり引く、後受身
頸部伸展の抑制	頸部筋力訓練、ストレッチ
頸部筋力訓練	基礎に忠実な正しい練習をする

学校安全部 <https://www.jpnsport.go.jp/anzen/>

平成31年2月号 中学校・高等学校向け

## 頭頸部外傷事故発生時の対応フローチャート

「買っておこう!」  
地震や床に頭を打つような事故が発生したらこのフローチャートを参考に早く対応しましょう!

**意識障害の有無を確認**  
意識障害の有無を確認  
意識が戻らない  
意識が戻らない  
意識が戻らない

**頸部・頸椎損傷の疑いを確認**  
頸部・頸椎損傷の疑いを確認  
頸部・頸椎損傷の疑いを確認

**脳震盪症状の有無を確認**  
脳震盪症状の有無を確認  
脳震盪症状の有無を確認

**保護者に連絡して家庭で観察**  
保護者に連絡して家庭で観察  
保護者に連絡して家庭で観察

**119番通報 AEDの手配**  
119番通報 AEDの手配  
119番通報 AEDの手配

**心肺蘇生の開始 AEDの使用**  
心肺蘇生の開始 AEDの使用  
心肺蘇生の開始 AEDの使用

**選やかに脳神経外科を受診**  
選やかに脳神経外科を受診  
選やかに脳神経外科を受診

JAPAN SPORT COUNCIL 日本スポーツ振興センター 学校安全部 <https://www.jpnsport.go.jp/anzen/>

平成31年2月号 教職員・保護者向け

## 減らしたい!柔道での重大事故!!

頭頸部外傷事故を防ぐための留意点

- ① 基本的な心構えをもたせる  
「確かな稽古が美」  
正しい技と受身を身に付けよう  
相手を尊重し、無理のない稽古をしよう  
服装・道場の安全点検をしよう
- ② 受身などの基本動作から按へ段階的に練習させる
- ③ 技能レベルに応じた受身を身に付けさせる(反復練習で頸部の筋力強化を目指す)
- ④ 様々なパターンの約束練習と相手に応じた自由練習を経験させる
- ⑤ 周囲に気を付け、他の練習者や周囲との衝突を防ぐことができるようにする
- ⑥ 学習した技以外の技や禁止技はかけないようにさせる
- ⑦ 生徒自身による異変への気付きと頭頸部外傷時の対応ができるようにする

学校安全部 <https://www.jpnsport.go.jp/anzen/>

平成31年2月号 教職員・保護者向け

## 減らしたい!柔道での重大事故!!

頭頸部の外傷を予防するには(実践編)

- ① 受身  
受身の徹底練習、[眼を引く]「帯を見る」など具体的な指導をすること!
- ② 基本的に忠実な正しい柔道をする  
頸部 投げられた時は、無理をさせず、受身をしっかりとさせること!
- ③ 教育・啓発活動  
講習会、指導者安全講習会などを受講すること!
- ④ 学習した技だけを行わせること!  
頭から落ちるような技をかせかせない!

頸部伸展を抑制することが重要! Check!  
頸部伸展を抑制することが重要! Check!

重大事故の発生傾向  
●学校の管理下で20年間(H10~H29)に柔道で発生した重大事故は86件で、そのうち頭部外傷は42件、頸部外傷は24件です。  
●頭部外傷は発生数も多く、頸部外傷は頻りに多く発生するという特徴があります。

学校安全部 <https://www.jpnsport.go.jp/anzen/>

これらの資料の他にもJSCホームページ「災害共済給付Web」で教材カードやポスター等、事故防止のための様々な資料を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

\*\*\*\*\*

<参考資料>

- ・ [災害共済給付Web](#)
- ・ [令和6年度 災害共済給付ガイド](#)
- ・ [教材カード](#)

【問い合わせ】日本スポーツ振興センター災害共済給付事業部名古屋支所  
TEL : 052-533-7821 E-mail : saigaikyosai-nagoya@jpnsport.go.jp